

17 大沢野中学校

所在地 〒939-2253 富山市八木山550

電話 076-468-2600

FAX 076-468-2211

ホームページ

検索

開校年月日 昭和58年(1983)4月1日

校長 小幡 幸治



QRコード



学校のあらまし

本校は富山市の南部に位置し、豊かな自然に囲まれ、野球場や陸上競技場、多目的広場に隣接した学校です。敷地は広く、春には桜が見事な花を咲かせます。白く大きな校舎で廊下が広く、南向きの教室には太陽の光が降り注ぐなど、恵まれた学習環境の中で生徒は勉強や部活動に取り組んでいます。授業の中では少人数授業やチーム・ティーチングを実施し、分かりやすい授業を展開しています。部活動も活発で、全国大会や北信越大会に出場した部活動が複数あります。生徒が主体となって行う生徒会活動も盛んで、毎朝玄関では多くの生徒が自主的に、交替で「あいさつ駅伝」を行っています。また、体育大会や合唱コンクールは、全校やクラスごとの団結が見られ、見応えのある行事となっています。

教育目標

【教育目標】

「意志の強い人間」「知性の豊かな人間」
「友情の厚い人間」

【指導の重点】

次の5つを重点に教育活動を展開しています。

- 生徒の主体的な活動の推進
- 確かな学力の定着と活用する力の育成
- 自他を認め合う豊かな心の育成
- 規律ある生活態度の育成
- 安心・安全のための体制の確立

学校行事

- 4月 始業式、入学式、学習参観、生徒総会
- 5月 体育大会、中間考査
- 6月 教育相談、市中学校総合選手権大会、期末考査
- 7月 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」、三者懇談会、終業式、県中学校総合選手権大会
- 8月 北信越大会、全国中学校体育大会、始業式
- 9月 学校公開日、修学旅行(3年)
- 10月 市中学校新人大会、中間考査、学園祭、教育相談、校外学習(1年)
- 11月 校外学習(2年)、期末考査
- 12月 三者懇談会、終業式
- 1月 始業式、書初大会、教育相談
- 2月 教育相談、学年末考査
- 3月 卒業式、修了式

生徒数

(令和8年5月1日現在)

	1年	2年	3年	特別支援	合計
男子	68	73	71	7	219
女子	74	60	68	2	204
合計	142	133	139	9	423
学級	5	4	4	3	16

学校の歩み

- 昭和22年 旧大沢野、旧大久保中学校開校
- 昭和58年 旧大沢野、旧大久保両中学校を統合し大沢野町立大沢野中学校創設
- 昭和60年 北信越中学校総合競技大会 陸上競技 男子総合優勝
- 平成7年 県中学校駅伝競走大会で女子三連覇(3年連続全国大会出場)
- 平成12年 優良PTA文部大臣表彰受賞
- 平成16年 利根川進氏(ノーベル医学・生理学受賞)講演会
- 平成17年 市町村合併に伴い富山市立大沢野中学校となる
- 平成25年 全日本中学選手権競漕大会ボート部 男子優勝
- 平成29年 体育館改修
- 梶田隆章氏(ノーベル物理学賞受賞)講演会
- 平成30年 北信越中学校駅伝競走大会 男子優勝
- 令和2年 学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクールとなる
- 令和3年 全日本中学選手権競漕大会女子ダブルスカル3位
- 令和4年 全国中学校駅伝競走大会 女子4位
- 令和5年 全国中学選手権競漕大会 男子ダブルスカル3位、男子総合2位
- 全国中学校駅伝競走大会 女子2位
- 令和6年 全国中学選手権競漕大会 男子シングルスカル3位
- 全国中学校陸上競技選手権大会 共通女子1500m3位
- 全国中学校駅伝競走大会 女子2位

工夫している本校の取り組み

【学力向上】

- 年間を通して45分授業を実施することで、帰りの会の後に20分間の「沢中タイム」を実施します。「沢中タイム」では、授業内容の補充学習や、プリント学習を行い、学力の定着を目指します。
- 効果的な学習方法の紹介、計画的な課題の提示等、家庭学習の充実にも力を入れています。

【望ましい人間関係の育成】

- ライフスキルプログラムを導入し、コミュニケーションや好ましい人間関係づくりのスキルの習得を目指しています。
- 定期的な教育相談を実施し、生徒の悩みの解消や学校生活の充実のサポートに努めています。

【生徒活動の充実】

- 生徒会活動や学校行事、部活動等、生徒の自治的活動を通して活気ある学校を目指しています。

【地域に開かれた学校】

- 地域との交流が盛んで、多くの生徒が地域の防犯活動やイベントに参加しています。
- コミュニティ・スクールとして、積極的に地域の人材を活用し、講演会等を行っています。

① 確かな学力の習得

- ティーム・ティーチングによる、きめ細かな学習指導や、習熟度別少人数授業を取り入れることで、個に応じた学びの保障に努めます。
- 年間を通して、計画的に「沢中タイム」を実施し、繰り返し指導や補充学習等を行い、確実に知識及び技能の習得を図ります。
- 校内での授業参観や小中合同での研修会等、教員同士の学び合いを通して、主体的・対話的で深い学びが実現する授業を目指します。
- 家庭学習強化週間を小学校と同時期に実施するなど、小学校と連携した取り組みをすることで、家庭学習の充実につなげます。



沢中タイムによる学力向上の取り組み

② 地域と連携した心豊かな生徒の育成



地域団体との防犯キャンペーン

- キャリア教育の一環として、「地域で働く人から学ぶ講演会」を、1、2年生で実施しています。保育士や消防士、建築士等、様々な職種の方からお話を聴き、将来の生き方について考えます。
- ボランティア実践部が中心となって、地域の福祉施設との交流や募金活動を行っています。また、地域防犯キャンペーンへの参加等、積極的に交流を図り、地域を大切にすることを心がけています。

③ 特色ある活動

今年度の生徒会は、「for Future for All」のテーマのもと、執行部と六つの実践部が様々な活動に取り組んでいます。自主的に挨拶のたすきをつなぐ「あいさつ駅伝」、全校生徒で楽しく交流する「沢中フェスタ」等、学校生活をよりよくしていく自治的活動を推進しています。また、各実践部では、SDGsを意識した活動を展開しています。

学校行事では、体育大会の団パフォーマンスや学園祭の合唱活動に生徒全員が全力で取り組み、心を一つにして盛り上げます。



心が一つになる体育大会

④ 活発な部活動



部活動が大変盛んで、運動部・文化部合わせ18部を設けています。隣接したスポーツ施設も活用し、恵まれた環境で生徒は部活動に励んでいます。

近年は、陸上競技部、水泳部、ボート部、駅伝部等が北信越大会や全国大会等に出場し、活躍しています。さらに、吹奏楽部は夏のハッピーウインドコンサートの他、地域のイベントにも参加して演奏を披露するなど、地域の方々にも楽しんでもらっています。